

令和7年度 病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修プログラム

研修目的・意義

- ・認知症の人の視点に立った、本人の生活を支える知識と方法を修得する。
- ・早期発見・早期対応の重要性を理解する。
- ・多職種連携の重要性とその活用についての方法を理解する。

開催日時：令和8年1月14日（水） 13時～15時30分

時 間	項目	研 修 内 容		講 師
13：00		開会あいさつ		埼玉県
13：05～ 13：30 (25分)	Ⅰ 知識編	ねらい	認知症の人や家族の視点に立ち、その生活を支えるために必要な基本的な知識を習得する。	霞ヶ関南病院 医師 長島 一公 氏
		到達目標	・ 認知症の現状やその病態について、概要を説明できる。 ・ 認知症の早期発見・早期対応の意義を理解できる。	
		主な内容	・ 研修全体の目的・意義 ・ 認知症施策の推進について 認知症施策推進大綱 ・ 共生社会の実現を推進するための認知症基本法 ・ 認知症とは（概念 主な疾患の特徴 症状と経過） ・ 認知症予防と多職種アプローチ	
13：30～ 14：40 (70分)	Ⅱ 実践編	ねらい	認知症の人の QOL の向上を図るため、コミュニケーション、ケア及び多職種連携による支援の実際を理解する。	みさと健和病院 認知症看護認定看護師 青木 稔枝 氏
		到達目標	・ 認知症の人の意思を尊重したケアの基本を理解できる。 ・ 認知症の人や家族への支援のポイントを理解できる。 ・ BPSD について理解し、その対応について理解できる。 ・ 認知症の人の支援にあたって、多職種連携の意義や方法を理解できる。	
		主な内容	・ 本人視点を重視したアプローチ ・ 意思決定支援の基本原則とプロセス ・ 認知症の人のケアとコミュニケーション ・ アセスメントの留意点 ・ パーソンセンタードモデル ・ 家族・介護者への支援 ・ BPSD(認知症の行動・心理症状)対応の基本 ・ 認知症の非薬物的対応 ・ 多職種(他事業所間)連携の意義と実際	
休 憩 (10分)				
14：50～ 15：05 (15分間)	Ⅲ 社会資源編	ねらい	認知症の人を取り巻く、医療、介護及び地域の社会資源等の活用の重要性を理解する。	長島 一公 氏
		到達目標	・ 認知症の人を支える施策や仕組みを理解できる。 ・ 活用できる制度等について、本人・家族に説明できる。	
		主な内容	・ 地域包括ケアシステム ・ 認知症の人への支援体制（医療・介護・地域の連携） ・ 認知症の人を支える様々な仕組み ・ 若年性認知症の人への支援	
15：05～ 15：25 (20分間)	「意思決定支援」組み込み動画（20分）			動画
15：25～ 15：30 (5分間)	質疑応答			長島 一公 氏 青木 稔枝 氏